



2021年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月6日

上場会社名 古林紙工株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3944 URL <http://www.furubayashi-shiko.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 古林敬碩
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長兼経営企画部長 (氏名) 米島明 TEL 06-6941-8561
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 2021年9月17日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	7,708	6.2	4	99.0	4	99.0	4	
2020年12月期第2四半期	8,215		348		388		164	

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 255百万円 (%) 2020年12月期第2四半期 604百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	3.37	3.35
2020年12月期第2四半期	149.72	

当社は2019年6月27日に開催の第89回定時株主総会で、「定款一部変更の件」が承認されたことを受けて、2019年12月期より決算日を3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、2020年12月期第2四半期と2019年12月期第2四半期は連結対象期間が異なるため、2020年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	17,095	8,569	46.4
2020年12月期	17,510	8,859	47.0

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 7,936百万円 2020年12月期 8,235百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期		25.00		25.00	50.00
2021年12月期		25.00			
2021年12月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,200	3.6	220	61.2	250	58.1	170		153.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2021年8月6日)公表いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期2Q	1,776,820 株	2020年12月期	1,776,820 株
期末自己株式数	2021年12月期2Q	671,713 株	2020年12月期	671,713 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期2Q	1,105,107 株	2020年12月期2Q	1,093,773 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大による経済活動や個人消費への影響が大きく、ワクチン接種が始まったものの先行き不透明な状況が続いております。原料となる板紙出荷量は持ち直してきてはいるものの、コロナ禍前の状況には至っておりません。

海外の経済においては、欧米や中国を中心に新型コロナウイルス感染症に対するワクチン普及により経済活動の正常化が進みつつあるものの、米中対立などもあり予断を許さない状況が続くものと思われま

す。このような状況の中、当社グループでは、「包装を通じて社会に奉仕します」の社是に則り、新型コロナウイルス感染症拡大の状況下においても、お客様にはWeb会議ツールも駆使して受注活動を進めております。当社グループ一体でお客様への供給責任を果たすべく、各部門で従来からの課題の解決に取り組むとともに部門相互で連携を強化し、全社一体となってお客様と締結した品質契約と個別契約の要求基準を満たす製品を生産し、確実な納品を徹底しております。このように「優秀な製品」「確実な納品」「適正な価格」の造り込みを進めております。

また、当社グループでは、ESGを経営の根幹に据え、事業を通じて社会的課題の解決を図るよう努めております。環境に関しては、より少ないエネルギーと素材をより無駄なく製品化することで環境負荷低減に貢献するべく、設計技術と生産性の向上に取り組んでおります。持続可能な調達を推進するお客様の環境に配慮したパッケージのために森林認証紙の使用が増え、使用重量比76.9%が認証紙となっております。従業員の健康状況に関しては、日々情報を収集し、全社で共有しております。新型コロナウイルス感染症に対しては、すべてのステークホルダーへの安全安心を最優先に、従業員とその家族への消毒の徹底および感染対策の指導、工場内の入場制限、ソーシャルディスタンスの確保、時差出勤、在宅勤務など、人への安全確保を第一とした各種感染症拡大防止策の励行を引続き徹底しております。この他、当社で前連結会計年度から取組みに着手しましたデジタルトランスフォーメーション(DX)に向けて、ERPパッケージを中心に環境の構築を進めております。

その結果、売上高は7,708百万円(前年同四半期比6.2%減)となりました。日本では、前年同四半期からは新型コロナウイルス感染症拡大が影響しております。中国では古林紙工(上海)有限公司を前連結会計年度末に連結除外したことが影響しております。利益面では、日本での売上高減少および中国での原材料価格の高騰と上海古林国際印務有限公司の移転に関わる費用の増加により、営業利益は4百万円(前年同四半期比99.0%減)、経常利益は4百万円(前年同四半期比99.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失164百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループにおける当第2四半期連結会計期間末の資産は17,095百万円となり、前連結会計年度末に比べ415百万円減少しました。これは、主に投資有価証券の時価下落により513百万円減少したことによるものであります。当第2四半期連結会計期間末の負債は8,526百万円となり、前連結会計年度末に比べ125百万円減少しました。これは主に固定負債その他で149百万円減少したことによるものであります。当第2四半期連結会計期間末の純資産は8,569百万円となり、前連結会計年度末に比べ290百万円減少しました。これは、主に投資有価証券の時価下落によるその他有価証券評価差額金で357百万円減少、および為替換算調整勘定で101百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の業績につきましては、2021年2月10日に公表いたしました連結業績予想を変更しております。詳細につきましては本日(2021年8月6日)公表いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、新型コロナウイルス感染症が、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。今後、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,238	1,226
受取手形及び売掛金	4,560	4,434
商品及び製品	608	600
仕掛品	266	375
原材料及び貯蔵品	195	237
その他	191	200
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	7,056	7,071
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	1,534	1,711
土地	1,689	1,689
その他(純額)	1,098	962
有形固定資産合計	4,321	4,362
無形固定資産	5	40
投資その他の資産		
投資有価証券	5,064	4,551
退職給付に係る資産	306	312
その他	759	761
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	6,128	5,623
固定資産合計	10,454	10,024
資産合計	17,510	17,095

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,731	3,599
短期借入金	1,081	1,066
1年内返済予定の長期借入金	605	595
未払法人税等	75	56
賞与引当金	27	43
その他	1,219	1,335
流動負債合計	6,738	6,693
固定負債		
長期借入金	906	974
退職給付に係る負債	104	104
資産除去債務	3	3
その他	900	751
固定負債合計	1,913	1,833
負債合計	8,651	8,526
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,151	2,151
資本剰余金	1,410	1,410
利益剰余金	3,133	3,106
自己株式	△923	△923
株主資本合計	5,772	5,744
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,258	1,900
為替換算調整勘定	137	238
退職給付に係る調整累計額	68	53
その他の包括利益累計額合計	2,463	2,192
新株予約権	8	8
非支配株主持分	616	625
純資産合計	8,859	8,569
負債純資産合計	17,510	17,095

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	8,215	7,708
売上原価	6,805	6,607
売上総利益	1,410	1,102
販売費及び一般管理費	1,062	1,098
営業利益	348	4
営業外収益		
受取利息	5	1
受取配当金	51	52
その他	42	15
営業外収益合計	98	69
営業外費用		
支払利息	8	10
為替差損	7	17
その他	42	42
営業外費用合計	58	69
経常利益	388	4
特別損失		
事業整理損	598	—
特別損失合計	598	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△210	4
法人税等	141	35
四半期純損失(△)	△351	△31
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△187	△35
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△164	4

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純損失(△)	△351	△31
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△158	△357
為替換算調整勘定	△75	149
退職給付に係る調整額	△19	△15
その他の包括利益合計	△253	△224
四半期包括利益	△604	△255
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△392	△268
非支配株主に係る四半期包括利益	△212	13

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△210	4
減価償却費	229	215
受取利息及び受取配当金	△56	△53
支払利息	8	10
事業整理損	598	—
売上債権の増減額(△は増加)	507	189
たな卸資産の増減額(△は増加)	△65	△120
仕入債務の増減額(△は減少)	△470	△255
その他	201	251
小計	742	240
利息及び配当金の受取額	53	52
利息の支払額	△9	△11
法人税等の支払額	△103	△72
営業活動によるキャッシュ・フロー	682	209
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△182	△80
定期預金の払戻による収入	395	46
有形固定資産の取得による支出	△346	△231
有形固定資産の売却による収入	2	0
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
その他	△4	△19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△136	△285
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△21
長期借入れによる収入	200	400
長期借入金の返済による支出	△436	△342
ストックオプションの行使による収入	3	—
配当金の支払額	△30	△28
非支配株主への配当金の支払額	△2	△3
その他	△32	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△297	△2
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13	28
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	237	△50
現金及び現金同等物の期首残高	1,128	1,177
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,364	1,126

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社および国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(2020年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行およびグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産および繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載しております新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	日本	中国	合計
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	6,755	1,460	8,215
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	651	651
計	6,755	2,111	8,866
セグメント利益	366	74	440

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	440
セグメント間取引消去	0
その他の調整額	△92
四半期連結損益計算書の営業利益	348

(注) その他の調整額は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「中国」セグメントにおいて、連結子会社である古林紙工(上海)有限公司の乳製品市場へのカートン製造販売を停止する方針の決定に伴い、減損損失433百万円を事業整理損に含めて計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	中国	合計
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	6,347	1,361	7,708
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1	573	575
計	6,349	1,934	8,283
セグメント利益又は損失(△)	140	△60	80

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	80
セグメント間取引消去	0
その他の調整額	△77
四半期連結損益計算書の営業利益	4

(注) その他の調整額は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。